

教育委員会だより

おおとよ小学校では、「総合的な学習の時間」に「大豊町の歴史や今までの授業を振り返り、ふるさとの良さに気づき、町や自分の未来について考えることができる。」を目標に学習をしています。

その学習を進める中で、ゆとりすとパークについて調べたグループから町へ手紙が届きました。



ゆとりすと新聞 風と一緒に遊ぶ

名前の由来は?
ゆとりすとパークという名称の由来は、「ゆとりのある町のシンボルとなる公園にしたい」という思いでゆとりすとパークになったそうです。私は、風と一緒に遊ぶためだと思ったのですがゆとりのある町のシンボルとなる公園にしたいという思いからだつたので、くりました。

いつ出来たか
ゆとりすとパークは、平成7(1995)年5月から営業を始めたそうです。その時、私はまだ生まれていないので、そんな昔からあるなんてびっくりしました。それから19年後、2014年にリニューアルして、営業を始めてから25年経過していることが分かりました。

ゆとりすとパークの来客数はなんと25800人!!
昨年の来客者は総数2万8000人の人がおとされたそうです。その中で、キャンプなどで宿泊した方は84400人だつたそうです。私は、ゆとりすとパークに、2万8000人の人が来ていて、びっくりしたし、うれしかったです。ゆとりすとパークは人気のスポットということも分かりました。

(観光客の日帰りの方と宿泊した方の割合)



ゆとりすとパークの風車と公園
ゆとりすとパークの風車は、発電のために作られたそうです。風車は、2016年の7月ごろから工事を開始し2018年の5月に完成したそうです。

ゆとりすとパークの公園は自然や風と一緒に遊ぶためにつくられたそうです。確かに、公園で遊んでいると風がふいてきて一緒に遊んでいる気がします。



まとめ
ゆとりすとパークの風車は発電のためにつくられたことが分かったし、ゆとりすとパークは平成7年、1995年に営業を始めたことが分かりました。



自分たちで調べた内容を良くまとめられています!

子どもたちは、今後も学習を進めていくそうです。



地域包括支援センター通信

大豊町のお達者さん紹介コーナー



永瀬 北村 豪さん (81)

梅ジュース
味はさっぱりとして
おりゴクゴク
飲めます。



【毎日欠かさずしていること】

腹筋 100 回、足上げ運動 2000 回、かかと上げ運動 200 回、腕上げ運動 100 回を朝起きたらベッドの上でこなしています。毎日運動したら、妻の作ったご飯が美味しく食べられて、一日元気で活動できます。

【愛情たっぷりの作物を皆さまに】

自宅では、妻と一緒に野菜と果物をたくさん育てています。ブルーベリーはジャムにしたり、ソースにしてサラダにかけて食べます。酸味があるので塩分の摂りすぎを予防できます。また、町内の子ども達にも自分の作った野菜や果物を食べてもらいたいと思い、給食センターに提供しています。喜んでもらえたらうれしいです。

【自慢の自家製ジュース】

畑で採れた梅やシソを使ってジュースも作っています。塩分は使わずに、素材の味を活かしているので、健康にも良いですよ。自分だけ健康になってもいかなので、周りのみんなと一緒に健康になってもらいたくて希望される方にジュースの作り方を書いた紙を配っています。欲しい方がいたら声をかけてください。

【仕事から学んだこと】

土木関係の機械を作る仕事をして、たくさんの人に出会い、様々な経験をしてきました。その中で、人が成長するためには、優しく褒めて接することが大事。失敗したら原因を追究し、改善できるように工夫していかなければ、良い結果は出ないことを学びました。その経験から健診結果をファイルに残していくという方法を始めました。

運動をして、
体はこんなに
柔らかいんです。



【妻に感謝の気持ちを忘れずに♡】

仕事を 73 歳まで続けてきました。ここまで仕事できたのは、何と云っても妻のおかげです。毎日、愛妻弁当を作ってくれたおかげで、健康を維持できています。妻に“ありがとう”と感謝の気持ちを込めて毎日伝えています。お互いが元気に暮らしていけるように、運動や食事に気をつけて妻と二人で頑張っていると思います。

感謝の気持ちを忘れず、夫婦二人三脚で取り組まれている姿は輝いており、体だけでなく心も健康であることがうかがえました。何か始めたいと考えている方は、ぜひ参考にしてみてください。取材を引き受けてくださり、ありがとうございました。



引き続き、取材を続けていきたいと思います。
自分のためにしていること(運動、散歩、栄養、趣味の活動など)をぜひ、地域包括支援センターまでご連絡ください。自選、他選は問いません♪

大募集

問い合わせ先 住民課 地域包括支援センター